

※ 海外ニュース ※

英国 2024年9月2日 Highways News

■ National Highways が 4 億 9,500 万ポンドのスペシャリスト専門技術サービス枠組みの採用について発表

National Highways announces £495m specialist professional and technical service framework procurement

National Highways は、同機関の新たな 6 カ年 4 億 9,500 万ポンドの枠組みに参加するスペシャリスト専門技術サービス提供業者 6 社を探している。National Highways によると、「スペシャリスト専門技術サービス 3 枠組み」に指名された供給業者は、道路に「輸送関連の技術コンサルタント業務、エンジニアリングアドバイス、研究革新サービス」を提供することとなり、成功を取めた供給業者は必要となる領域でスペシャリストサポートを提供するための多様なサプライチェーンを利用することが広く期待される。

英国 2024年9月2日 Highways Magazine

■ National Highways の危険管理コンテストで試験が拡大

Trials expanded in National Highways hazard management competition

コネクテッド・プレイシズ・カタパルト社の協力のもと、「路上危険防止アクセラレーター」プログラムでは、National Highways と過去に協働しなかった可能性のある安全性リスクに取り組むための珠玉のイノベーションを持つ中小企業をターゲットとした。今年に入り、9 組織の候補リストへ、それぞれのアイデアの試験をデザインするため最大 3 万ポンドが授与された。これは試験を実施するため最大 6 万ポンドの追加資金を受け取る 5 社に絞られる予定であった。しかし National Highways によると、コンテストが僅差だったため審査員は 6 つのプロジェクトを進めることを決定した。

英国 2024年9月3日 Highways News

■ リーズ・ジェフリーズ道路基金が「将来に備える」補助金計画を発表

Rees Jeffreys Road Fund announces Ready for the Future grant scheme

運輸慈善事業のリーズ・ジェフリーズ道路基金は、ハイウェイ・運輸部門における顕著なスキル不足への対応を支援する新たな補助金計画を立ち上げた。「将来に備える」補助金は、将来ハイウェイに必要となるスキルが得られるよう現在のハイウェイまたは運輸専門家に資金提供することで将来の道路開発の成功を支援する狙いがある。応募者は最大 1 万ポンドの受講料をカバーする補助金に申し込むことができる。資金提供可能な「所定の」講座リストは存在せず、理事らは、ハイウェイ・運輸部門に対する将来の影響や潜在的利益の観点で提案課程に根拠を示している応募者に関心がある。

米国 2024年9月3日 Automotive Dive

■ 運輸省が 2037 年までの国道と多くの交差点における無線自動車技術を要請

DOT calls for wireless vehicle tech on national highways, most intersections by 2037

連邦政府や多くの業界関係者は、ビークル・ツー・エブリシング (V2X) 技術が安全性を改善するためさらに国道、交差点、車両の一翼を担うことを望んでいる。計画要旨によると、このデジタル通信は衝突を防ぎ、システム性能を最適化し、輸送効率を改善し、天候や工事現場といった事項の道路状況認識を向上させる助けとなる。昨年 10 月に発表された計画の原案ではより挑戦的なスケジュールが要請されていたが、最終版では例えば次のようなゆったりした目標が認められている：V2X が可能となる全国の交差点を 2032 年までに 40%、2037 年までに 75% とする。

米国 2024年9月5日 Construction Europe

■ インフラのアップデート：米国の主要橋梁およびハイウェイプロジェクトが進行中

Infrastructure update : Major U.S. bridge and highway projects in progress

ターンパイク委員会のモン・ファイエット・エクスプレスウェイプロジェクトは計 4 つのプロジェクトであり、このうち 3 つは建設済みで、長さは 87 km、州間高速道路 68 号線とペンシルバニア・ルート 51 を結んでいる。ローワー・マンハッタン沿岸レジリエンスプロジェクトは、沿岸部暴風・海面上昇による洪水リスクの低減を目的

とした総合的沿岸保護構想である。レーン・コンストラクション社はウォーターリー川に架かる2基の橋を建設しており、この橋はサウス・カロライナ州交通局の橋復旧プロジェクトの一環として20号線沿いの高架交差路を架け替えるものである。

ドイツ 2024年9月5日 Süddeutsche Zeitung

■ 連邦政府所有のアウトバーン社、コスト削減を計画

Sparprogramm bei bundeseigener Autobahngesellschaft

2025年度連邦予算の政府案と2028年までの財政計画の閣議決定を受け、高速道路の維持管理と運営を担うアウトバーン社の監査役会副会長ガイヤー氏は、同社への予算配分は不十分であり、今後経営健全化計画を策定すると述べた。2025年度は6億ユーロの資金不足となり翌年以降も同様の見通しで、橋梁修復工事等が遅延する可能性がある。そもそも橋梁近代化の計画用予算が不足しているためだという。予算案では、設備投資予算が来年度に微増、その後数年間に大幅な引き上げが盛り込まれたのに対し、計画・管理運営予算は約23億ユーロのまま維持されるのが問題である。また予算不足の影響は進行中のEV充電設備増設計画、社用車のEV乗り換え等にも及びそうだとのことである。

フランス 2024年9月6日 Münchner Merkur

■ 人気の休暇先フランスで新高速道路通行料徴収システム導入：未払いには高額な罰金も

Neue Maut-Regeln im Nachbarland : Hohes Bußgeld droht in beliebtem Urlaubsland

フランスは高速道路通行料のデジタル課金システム導入を進めている。新システム「Free-Flow-Maut」では料金所で直接支払うのではなく、システムが通行車両をスキャンし、自動的に通行料を算出する。料金は走行後72時間以内にドライバー自らがオンライン（クレジットカード）、あるいは最寄りのサービスエリアやキオスク（現金）等で支払わなければならない。料金の支払いを怠るとまず督促状が届き、2週間以内に支払わなかった場合は90ユーロの罰金が加算される。2カ月支払いがない場合、罰金がなんと375ユーロに跳ね上がる。新システムは既にいくつかの区間で導入されており、ADACによると今後数年かけてフランス国内全区間で自動課金方式が整備される予定。

フランス 2024年9月9日 ADAC

■ パリ環状高速道路：制限速度が時速50kmに

Autobahn in Paris : Hier soll bald Tempo 50 gelten

パリ市内を囲む環状高速道路「Périphérique」の制限速度が現在の時速70kmから時速50kmに引き下げとなる見込みである。これは同市イダルゴ市長の提案によるものである。この環状道路はパリ市内と郊外住宅地区の境界でもあり、速度制限強化の第一の目的は約50万人の沿道住民の健康を守ることだという。ただし今回の速度制限強化は逆に渋滞を大きく悪化させるとの懸念があり、反対する人も多い。全長35kmのこの環状道路は1日約120万台の車両が往来し、欧州で最も交通量の多い道路のひとつである。特に朝夕のラッシュアワーには渋滞がひどいため、走行速度は時速70kmよりはるかに遅いのが実情である。

スペイン 2024年9月11日 Ministerio

■ スペインの交通局、サン・マルティン・デル・ペドロツとポルトガル国境の間を走る高速道路A-11の新しい区間工事を720万ユーロで入札する予定

Transportes adjudica por 7,2 millones de euros las obras del nuevo tramo de la A-11 entre San Martín del Pedroso y la frontera portuguesa

今回、入札される新しい道路はA-11と呼ばれるN-122Aの北側を走る道路で、A-11の道路幅は30メートルとなっている。道路N-122Aについては、さらに拡充する予定である。今回の道路改修で、道路間の連結が改善し、道路が通る地域の動物群の生態にもよい影響が見込まれる。開削によって生じる斜面の維持について地質工学的な措置をとる予定で、道路の両側に作業車線を設け、縦と横方向に下水を整備し、信号も縦と横の両方で表示し、道路の安全と環境保全について正しい方策が講じられる。

スペイン 2024年9月12日 EL PAÍS

■ カタルーニャ州の交通局、バルセロナに入る高速道路 AP-7 の車線の制限速度を時速 100 km まで引き下げる
El Servicio Catalán de Tráfico reduce a 100 kilómetros por hora el límite en un tramo de la AP-7 de entrada a Barcelona

高速道路 AP-7 のバルセロナに入る車線の制限速度を時速 100 km まで引き下げる措置は、毎週日曜日と連休最終日に適用される。これは 2024 年 9 月 12 日に発表された法的措置で、日曜日と連休最終日の午後 3 時から午後 10 時まで適用される。同区間において、今年に入って 2 人が死亡していて、このような事故を少なくする目的がある。ジローナでは、消防自動車衝突後に横転し、7 人の負傷者を出している。今回、導入される速度制限には、そこが事故の起りやすい区間であることを運転者に知らせる視覚的警告が施されている。

ドイツ 2024年9月16日 BMDV

■ 大型商用車用高速充電インフラ事業者の公募がスタート

Ausschreibung für Lkw-Schnellladeinfrastruktur gestartet

高速道路沿い大型商用車用高速充電ネットワーク整備事業者の公募が 2024 年 9 月に始まった。今回の公募対象は、約 130 カ所の無人パーキングエリアでのバッテリー駆動トラックおよびバス向け高速充電設備の計画・設置と運営である。整備事業では全体として全国約 350 カ所の PA・SA に約 4,200 基程度の高速充電ステーションを設置する。ドイツは大型 EV 商用車のニーズをカバーする充電インフラを国内全域にくまなく整備することを目指しており、この整備事業はその目標に向けた大きな一歩である。同時に CO₂ 排出量の削減にも大きく貢献する。設置予定の充電ステーションには、大型商用車のニーズにマッチする MCS（メガワット充電システム）や CCS（コンバインド充電システム）も含まれる。

中国 2024年9月17日 World Highways

■ 中国の新規ハイウェイに 128 億 5,000 万米ドル

US\$12.85 billion for new Chinese highways

上海—重慶高速道路の武漢—宜昌区間の改修には 62 億 5,000 万ドルがかかる。この道路は容量を高めるため車線が追加され 266 km 区間で拡張されるが、このプロジェクトでは 27 カ所のインターチェンジの建設または改築が必要となる。114.4 km の邛崃—廬山—蔡經高速道路プロジェクトは約 39 億ドルに相当する。乍浦—嘉興—蘇州高速道路へ続く南湖の SG02 入札区間に対し入札が行われているが、この経路では各方向 4 車線、3 カ所の主要インターチェンジ、1 カ所のサービスエリア、4 カ所の料金所を検討している。入札は甘粛省の肅北—若羌ハイウェイの一区間でも行われている。

オーストリア 2024年9月20日 ITS International

■ カプシュ・トラフィックコム社がエルミアンに光明を見いだす

Kapsch TrafficCom sees the light with its Elumian

カプシュ・トラフィックコム社は、同社によると太陽光線だけでなくあらゆる光源を用いることができる世界初の光駆動通行料金徴収トランスポンダー、エルミアンを発表した。通行料金徴収トランスポンダーは、道路、橋、トンネルで自動無線通行料支払いを促進する車載小型電子装置である。エルミアンは自然、環境、人工問わずあらゆる光源のエネルギーを利用し内蔵電池への継続的充電を行う。同社はエルミアンを「持続可能性における飛躍的発明」と述べている。この製品はスウェーデンの提携企業エクセジャー社が開発したパワーフォイル技術を備えている。

ドバイ 2024年9月20日 traffic technology today

■ #ITS ドバイ 2024：アシュラ・テクノロジーズ社の AI を活用した通行料徴収

#ITSDubai2024：AI-powered tolling with Asura Technologies

AI を活用した自動ナンバープレート認識（ALPR）技術により通行料徴収システムが近代化しており、スムーズな交通流、改善された収入徴収、持続可能な輸送網がもたらされる。アシュラ社はドバイの ITS ワールド・ kongress でこのような技術を紹介している。われわれはより知的な通行料徴収インフラに向け、いかに円滑な移行を行えるだろうか？ 答えは AI ベースの ALPR および全地球的航法衛星システム（GNSS）にある。GNSS が堅固な距離ベースの通行料徴収ソリューションを提供するのにに対し、ALPR はよりアクセスしやすいオプションを提示している。

英国 2024年9月23日 Highways Magazine

■ 新たな渋滞緩和技術が試験で夢のような効果を発揮

New congestion-busting tech works like a dream in trial

この技術はケンブリッジに拠点を置く企業アルチュラ・テクノロジーズ社により開発されたものであるが、AIを使用して『正確な交通量予測を用い、投資効率を生むことと道路利用者に最適な体験をしてもらうことの兼ね合いを取ることで最も好ましい工事予約』を作成する。同社の見積もりによると、この技術を戦略的道路網全体で使用することにより、遅延行程を900,000削減でき国庫を1,820万ポンド節約できる。この時短技術は、道路工事における人々の体験を改善するための新たな方策を探るコンテストの最終3候補の1つであった。

英国 2024年9月23日 Highways Magazine

■ National Highways がグラフェン追跡試験を開始

National Highways launches follow-up graphene trial

最初の試験は2021年8月に行われ、ノース・イーストのA1号線でグラフェンがビチューメンに加えられた。最新のプロジェクトではA12号線で40%の再生アスファルト（グラフェン強化ポリマー改質剤を伴うアスファルトとして英国でかつて使用された最高レベルと考えられる）を含む新たな路面が見られた。アトキンス・レアリス社が数年にわたり性能をモニターし、カーボンフットプリントと全寿命での利点に注目し、標準ポリマー改質ビチューメンアスファルトの制御セクションに対し測定を行う。A12号線の表層ではギベイクと呼ばれる独自のグラフェン強化ポリマー添加剤が利用される。

イタリア 2024年9月23日 ANSAit

■ Astm 社、グリーンでハイテクな高速道路 A-4 をニューヨークにて提示

Astm presenta a New York A-4, autostrada green e hi-tech

Astm グループは、トリノとミラノを結ぶ高速道路 A-4 の更新プロジェクトをニューヨークにおいても提示する予定である。イタリアで実現する予定の高速道路 A-4 は、ヨーロッパで最初のグリーンでハイテクな高速道路になると言われている。デジタル機能を備え、生態学的持続性も有する道路となる。デジタルで柔軟に持続可能性を追求し、雨水の採集と再利用によって実現する。この理念は Astm の代表取締役であるウンベルト・トソーニ氏が、ニューヨークで「気候週間」に際して行う宣言に含まれている。

米国 2024年9月25日 Trucking Dive

■ コネクテッドカー技術は全国的な電子料金徴収を支援できると関係者が証言

Connected vehicle tech could help nationwide e-tolling, officials say

連邦政府は、車両とインフラに対するビークル・ツー・エブリシング（V2X）技術の向上と連携した電子料金徴収に可能性を見出している。国家運輸安全委員会によると、V2X を用いた無線通信は運転者に衝突について警告を与える助けとなり他の安全システムと協調できる。試験計画ではこの技術を適用した場合に衝突率が低下したことが示された。E-Z パスグループの理事 PJ ウィルキンス氏がトラッキング・ダイブに語ったところによると、安全が主要な焦点である一方で、この技術は全国的な電子料金徴収へつながら道筋をつける助けともなりうるとしている。

英国 2024年9月30日 Highways Magazine

■ 道路状態モニタリングに関する新たな規格が公表

New standard for road condition monitoring released

英国規格協会によると、道路状態モニタリングに関する待望の PAS 2161 仕様書では『国家報告のための道路状態データの処理・検証、データ品質確認、データの書式設定』が規定されている。また新たな形のデジタル検査の市場を開拓する道路状態モニタリングデータを提供する際の技術の利用について概説されている。この新しいシステムでは、道路は『メンテナンス処理の選択肢の可能性』とともに5段階に分類される。例えば、カテゴリー1は「劣化なし：舗装はメンテナンスの対象とならない」。また PAS 2161:2024 では道路状態の報告のための状態カテゴリーの要件等が規定されている。